

癌化学療法輸液約束処方 腭NET1

癌種 腭臓癌

レジメン名 腭NET1 STZ

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投薬期間	休薬期間	1クール期間
ザノサー	ストレプトゾシン	STZ	1000mg/m ²	div	DAY1	6日	7日

【DAY 1】

- ① NS 1000ml / 2時間
- ② NS 100ml+アロキシ1V +デカドロン 8 mg /10分
- ③ NS 100ml+ ザノサー mg / 30分(血管痛発現時は2時間まで延長可)
- ④ NS 250ml / 1時間

【休薬基準】

neutoro<1500/mm3

FN: Grade 3

PLT<10万

Cre>1.5倍

T-BiL>1.5倍

AST/ALT>2.5倍

BUN>30mg/dL

非血液毒性≥G3: G2以下かつ許容可能となるまで休薬

悪心嘔吐≥G3: G2以下に回復するまで休薬

【減量基準】

neutoro<500/mm3

FN: Grade 3

PLT<5万

Cre>1.5倍

非血液毒性: G3

【備考】

- ①DM合併症例の場合はデキサメタゾンの適宜減量を行う。
- ②ストレプトゾシンの催吐リスクは高度: イメンドはオプション使用とする。
- ③腎毒性、耐糖能異常に注意(死亡例あり)
- ④錯乱・嗜眠発現報告あり: 車の運転注意。
- ⑤血管痛発現時は投与時間を延長する。

【調製方法】

1Vに生食 9.5mlを加え、転倒混和→ 100mg/mlとなる。

【配合変化】

プレドニゾロン、フロセミドで沈殿。

R3.1.25改訂

|